

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0901	曜日時間	不定期
授業科目	母性看護学概論						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次前期	授業形態	講義
担当教員							
授業目的	リプロダクティブ・ヘルス/ライツおよび女性の一生を通しての健康の保持・増進と母性機能を円滑に遂行していくための母性看護の役割について学習する。						
中核	母性の獲得とライフサイクル						
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>母性看護の基盤となる概念と母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状について学習する。</li> <li>女性のライフステージ各期における看護についてその時期の特徴や健康問題との関係から学習する。</li> <li>女性の生涯を通じた健康の保持・増進の視点からリプロダクティブヘルスに関する健康課題と看護について学習する</li> <li>母性看護を実践するための重要な法令について学習する。</li> </ol>						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	15	<p>I. 母性看護の対象理解</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化</li> <li>母性の発達・成熟・継承（性の発達・母子関係・母性の伝承）</li> <li>女性のライフサイクル、ライフイベントと家族の発達段階</li> </ol> <p>II. 母性看護の基盤となる概念</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>母性とは</li> <li>母子関係と家族発達・セクシャリティ</li> <li>リプロダクティブヘルス/ライツ</li> <li>母性看護のあり方と理念</li> <li>母性看護における倫理</li> </ol> <p>III. 母性の対象を取り巻く社会の変遷と現状</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>母性看護の歴史の変遷と現状 母性看護の変遷・母子保健統計の動向</li> <li>母性看護に関する組織と法律・施策</li> <li>母性看護の対象を取り巻く環境 家族・地域社会・生物学的環境・社会文化的環境</li> </ol> <p>IV. 女性のライフステージ各期における看護</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性</li> <li>思春期・成熟期・更年期・老年期の対象における生理的問題と看護の実践</li> </ol> <p>V. リプロダクティブヘルスケア</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>現代社会における母性の健康をめぐる課題と看護</li> </ol> <p>VI. 母性看護に必要な看護技術</p> <p>VII. まとめ・評価</p>	講義・グループワーク	30			
終了後課題							
評価計画方法	レポート・筆記試験						
テキスト参考図書	<p>中込さと子他編：母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版</p> <p>参考文献：森 恵美他著：系統看護学講座 母性看護学[1]母性看護学概論 医学書院</p> <p>厚生労働統計協会編著：国民衛生の動向 厚生労働統計協会</p>						
実務歴有							
講義への反映							
備考							